

事業番号	10 02 04	事業改善シート（令和6年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	林業基盤整備事業	部局	林務部	課・室	信州の木活用課	
		実施期間	S39 ～	E-mail	ringyo @ pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

- 多くの森林が利用可能な齢級となっているものの、生産コストが割高になっていることなどにより、木材の利用が一部にとどまっており、低コスト生産による安定的な木材供給が望まれる。
- 低コスト生産、安定的な供給を支える高性能林業機械の導入数及び林内路網の整備量が少ない。

2 事業目的

県産材の効率的、安定的な供給、充実した森林資源の有効活用を図るため、高性能林業機械の導入や基盤となる林内路網を一体的に整備し、地域を支え、持続的に発展する競争力の高い林業・木材産業の構築を目指す。

3 事業目的を達成するための取組

- ①高性能林業機械の導入の促進**
 - 木材の素材生産の効率化と作業の安全性を高めるため、林業事業者等による高性能林業機械の導入を支援
 - 高性能林業機械の運転に従事する者を対象とした、労働安全衛生法に基づく法定項目に関する集合研修の実施
- ②林道整備**
 - インフラ長寿命化計画や5か年加速化対策等、国の施策等による林道整備の推進
 - 一般者の入り込みが多い特定林道の安全な通行を確保するための支援
 - 台風等の自然災害により、被害を受けた林道の早急な復旧
- ③森林路網情報のデジタル化**
 - GISやGNSSを活用し高精度にデジタル化された森林路網情報を、森林・林業関係者が互いに共有できる仕組みの構築

4 成果指標

(推移の凡例 ↗ : 改善 ↘ : 悪化 → : 変化なし — : 数値なし)

No.	指標名	単位	R4年度		R5年度		R6年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	高性能林業機械保有台数	台	538	699	↗	711 (速報値)	↗	569	達成	林業産出額を達成するために、林業事業者が必要とする高性能林業機械の台数を目標値に設定	
②	林内路網密度	m/ha	22.0	22.2	↗	22.4	↗	22.4	達成	原材料価格の高騰、予算の状況などを考慮し、目標値を設定	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 (☆印が付いているものは主要目標)	単位	直近3か年の状況						目標	
				年/ 年度	数値	年/ 年度	数値	年/ 年度	数値	年/ 年度	数値
2-1①	成長産業の創出・振興	☆林業産出額(うち木材生産)	百万円	2021 (R3)	7,413	2022 (R4)	8,790	2023 (R5)	7,484	2027 (R9)	7,170

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R6年度	349,822	1,052,701	△ 156,203	1,246,320	69,086	825,487	23.1
R5年度	559,745	880,932	△ 42,029	1,398,648	71,167	1,043,867	23.1
R4年度	683,472	938,160	△ 241,412	1,380,220	47,358	860,438	23.1

事業番号	10 02 04	事業改善シート（令和6年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	林業基盤整備事業		部局	林務部	課・室	信州の木活用課

7 主な取組実績と成果

①高性能林業機械の導入の促進

- ・主伐等の素材生産に取り組む林業事業者による高性能林業機械12台の導入を支援し、素材生産性や安全性の向上に寄与した。
- ・高性能林業機械の操作に係る従事者29名を対象として、より効果的に機械を活用するためのメンテナンス研修を2回実施し、労働生産性や安全性の向上に寄与した。



②林道整備

- ・県産材を効率的かつ安定的に木材市場や製材工場に供給できる林道や作業道整備を進め、労働生産性向上に寄与した。（林道整備L=10.17km）

③森林路網情報のデジタル化

- ・GISやGNSSを活用し高精度にデジタル化された森林路網情報の収集・整備を進めることができた。（諏訪・松本地域）

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標	内容	R5年度推移	R6年度推移	達成状況	達成
指標①	高性能林業機械保有台数	↗	↗	達成状況	達成
現場作業の効率性及び安全性の向上を図るため、林業事業者等による高性能林業機械の保有台数は着実に増加している。					
指標②	林内路網密度	↗	↗	達成状況	達成
林道や森林作業道の整備延長は着実に増加している。					

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

①高性能林業機械の導入の促進

- ・作業の効率化及び安全性の観点から高性能林業機械の需要が高まっており、事業に対する要望も多くなっている。（R6要望件数：10件）

②林道整備

- ・頻発化する豪雨など厳しい気象条件下にある路網の走行性・安全性を確保するため、改良工事を計画的に行う必要がある。（近年の林業災害復旧事業件数 R2:75件、R3:103件、R4:16件、R5:40件、R6:6件）

(2) 事業改善の方策

①高性能林業機械の導入の促進

- ・事業計画内容から事業の優先順位を決定し、効果的な高性能林業機械の導入の促進を図る。
- ・上記に加えて、主伐・再造林の推進に当たっては高性能林業機械に係る担い手の育成についても継続的に実施する。

②林道整備

- ・林業経営に適する森林を中心に、林道と森林作業道等を適切に組み合わせ、災害に強い森林路網の整備を進める。
- ・主伐再造林を含む森林整備を計画的に行うために必要な整備・改良等を進め、生産基盤の強化を図る。

事業名	林業基盤整備事業	部局	林務部	課・室	信州の木活用課
-----	-----------------	----	-----	-----	---------

細事業 No.	細事業名	R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
1	林業基盤整備事業	51,406 千円	86,599 千円	102,122 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	高性能林業機械導入推進事業	補助金	・林業事業者が行う高性能林業機械の導入（リースを含む）に対する補助 ・高性能林業機械のオペレーター養成研修に対する補助 高性能林業機械補助台数：12台、オペレーター養成研修：2回	

細事業 No.	細事業名	R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
2	林道整備事業	809,032 千円	957,268 千円	723,365 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	特定林道維持管理事業費	補助金	特定林道に対する財政支援を行い適切な維持管理と通行の安全を図る 1路線、約17kmの維持管理	
2	森林路網DX推進事業	直接委託	・森林路網（林道）のデジタル情報収集調査 ・森林路網のデジタル情報管理体制の構築 ・森林路網のデジタル情報活用人材の育成 調査対象路線：383路線	
3	森林整備に直結する作業道整備事業	補助金	・森林整備や間伐材の搬出を行うための作業道等開設に対する補助 補助対象路線：3路線	
4	公共林道事業	直接補助金	・県営事業による林道の開設 ・市町村が行う林道の開設、改良、舗装等事業に対する補助 開設10箇所、改良23箇所、舗装6箇所、他35箇所、計74箇所	
5	県単林道改良事業	補助金	地域の重要路線であり、一般者の入込みの多い特定林道の機能回復を図るための工事に対する補助 特定林道（南アルプス線、奈川安曇線）2路線	